

第8期 東久留米市地域産業推進協議会
第5回会議録

- 1 日 時 令和6年5月27日(月)午後6時00分～午後7時15分
- 2 会 場 東久留米市役所 6階 602会議室
- 3 出席者等(敬称略・五十音順)

赤星 良平	荒 昌史	石川 善則	伊藤 成美	榎本 義樹	陰山 ひとみ
齋藤 真理	塩野 麻里	篠宮 昭浩	多功 敬	土田 健太郎	野崎 林太郎

欠席：なし

4 議 事

1 開 会

2 挨拶

3 報 告

4 議 事

(1) 各事業部会の今後の取り組みについて(報告・質疑)

- ① イベント推進事業部会
- ② 情報発信推進事業部会
- ③ 新産業創出推進事業部会

(2) その他

5 連絡事項

- (1) 委員からの連絡
- (2) 事務局からの連絡

6 次回協議会開催日

7 閉 会

1 開 会

【事務局】

ただいまより、第5回東久留米市地域産業推進協議会を開催する。初めに配付資料の確認をさせていただきます。

(配付資料の確認)

2 挨拶

【会長】

- ・第8期としてのスタートから1年が経過し、残り1年となった。事務局側も人事異動もあったため、また新たに残り1年を各委員とも協力しながら励んでいきたい。
- ・各委員については、時間があればぜひ他の部会に参加してもらいたい。

3 報 告

■ 商工会

- ・1週間前に総代会を行い、会長が変更となった。

■ JA

- ・青壮年部長が変更となった。

■ JC

- ・わんぱく相撲大会を先月開催した。

・

■事務局

- ・令和6年4月1日付けの人事異動により、市民部長が異動となった。また、主任・主事は2名異動となった。
- ・今年度の市民みんなのまつりの開催が決定した。日時は11月9日(土)と10日(日)の2日間となる。

4 議 事

(1) 各事業部会の今後の取り組みについて(報告・質疑)

①イベント推進事業部会

■ 概 要

- ・「ナイトマルシェ」について、過去2回の開催で駅前に賑わいを創出することができたため、今後も継続していく。
- ・「ナイトマルシェ」の継続にあたり、将来的には民間へ運営を移譲する。移譲後も当初の目的や趣旨を維持しつつ継続的に開催するため、フォーマットを作成する必要がある。

る。

- ・フォーマットの模索を行うため、今年度についても第3回「ナイトマルシェ」を開催していく。具体的な方針としては、開催申請から事業報告までのマニュアル案を作成し、そのマニュアルに基づき運営を行い、運営後、マニュアルの改善点を検討していく。
- ・今後の部会において、マニュアル案および第3回の開催日について議論を行う。

■ 質問及び回答

【委員】

資料には「ポスターやチラシについては SNS でフォーマットを作成する」と記載があるが、誰が作成するのか。

【事務局】

これまでに SNS で作ったチラシ等を、日付のみ変更することで今後の開催に使いまわすことができないかということを検討している。

【委員】

ナイトマルシェを運営したい人がいた場合、どのような手続きが必要か、どのような趣旨で開催するのかがわかるようなマニュアルになるとよい。

【事務局】

基本的には運営を行いたい人に申し込みをしてもらう形を想定している。行政が関わる部分としては、道路使用許可などの手続きのみとして、他の設置や運営にかかわる部分は申請した方に行わせることを想定している。

【委員】

民間に移譲する場合は、現在のナイトマルシェとは違った、別のイベントを受け付ける形になるか。

【委員】

ナイトマルシェという名前はできれば残したいことは部会内でも話し合った。民間に移譲する場合、規模を縮小しないと難しいという意見も部会で出ている。実行委員会が運営を行う形で複数回やっていくことで、実行委員会用のマニュアルを完成させた状態で民間に移譲していきたい。

【委員】

この場合の民間とはどういう者を想定しているか。

【委員】

一人でもナイトマルシェを運営したいという人がいれば嬉しいが、その人は一事業者である可能性が高いと思う。

【委員】

民間に主催を移譲するとなると、営利目的となり警察の道路使用許可も下りなくなる

可能性が高い。そのため、実行委員会を作って運営する方向で検討中である。実行委員会でやる場合、市役所側は手続き代行という形になると想定している。

【委員】

マニュアルを作る場合、現在の行政が運営に携わる形態でやってきたことをただ盛り込むのではなく、民間に移譲した状態での手続きなどを網羅している形にするべきかと思う。

【委員】

第3回ではイベント推進事業部が実行委員会になる想定で検証していく。

【委員】

民間移譲にあたり、収益を上げる仕組みはどうするか。

【委員】

出店者側が収益を上げる仕組みについては、主催者側に考えてもらう。

【委員】

東久留米市が主催の場合、場所を貸すという方法で収益を上げる方法がある。

ナイトマルシェ自体、来年度以降も地産協として運営できるとは限らない。

【委員】

地産協から離れて運営する場合でも、地産協のメンバーが主催という形になると思う。

【事務局】

第3回でも地産協がベースとなるが、個人が運営する想定で臨む。

【委員】

第3回については地産協が主催するが、イベント推進事業部単体でやる想定で行い、地産協のメンバーは協力する形になるという認識でよいか。

【事務局】

その認識でよい。

【委員】

将来的に民間に移譲するのであれば、第3回も出店料を取る形でやってよいのではないかな。

【事務局】

民間に移譲するのであれば、継続性を保つために出店料が必要であることは認識している。ただ、この段階でそこまでのモデル事業としてできるかについては検討が必要である。

【委員】

出店料を取る場合、ナイトマルシェ周辺に無断で販売する人が出るかもしれない。

民間が主催する場合も想定して対策を考える必要があると思う。

【事務局】

駅前の道路でナイトマルシェを行っているため、仮に無断で販売する者がいても不法

占拠として対応できるかと思う。ただし、もともと駅前で店舗がある事業者が販売することは取り締まれないと思う。

【委員】

出店料を取るとなると、単純に収益のための品ぞろえで販売する店舗が出てくるかもしれない。地産協としてナイトマルシェを行った趣旨としては、地域の魅力を発信するという部分もあると思う。その部分がないがしろになってしまうと、市民もついてこれなくなってしまうかと思う。

【事務局】

民間移譲する場合でも、市が後援となる以上、本来の趣旨を維持できる仕組みを模索していく必要がある旨認識した。

②情報発信推進事業部会

■ 概要

- ・今後の方針としては、るるめちゃんと地域資源を合わせた形で撮影したショート動画を SNS で発信することで、東久留米市の知名度を上げるとともに、他の SNS 投稿の引き合いに出せるようにしていく。
- ・今年度の地域資源の発信としては、「るるめちゃんのデザインマンホール蓋」と「農作物」を中心に行っていく。「農作物」については、既に柳久保小麦を撮影し SNS に投稿している。
- ・今年2月ごろに投稿した「るるめちゃんやってみたシリーズ」という、るるめちゃんが様々な挑戦をするショート動画も地域資源と並行して投稿していく。直近では、きゅうりの苗を育てて、最終的に夕市に市長に食べてもらう企画を進行中である。

■ 補足

【委員】

きゅうりの苗については、二人の委員がそれぞれ別々で育てている。一方の委員は有機質の肥料だけで育てて、もう一方の委員は化成肥料を使って育てている。

きゅうりの撮影が終わった後、別の野菜を育てていくかは今後検討していく。

柳久保小麦とるるめちゃんを一緒に撮影したショート動画は、初日で千回再生されており、効果を実感している。ショート動画を撮影することは簡単ではないが、比較的簡単なものをこれからも撮影していく。

■ 質問及び回答

【委員】

SNS の発信について、ターゲット層は市民、市外在住者、東久留米を知ったばかりの人などがあると思うが、どの層に向けての発信を意識しているか。

【事務局】

市の地域資源については、東久留米を知ったばかりの人は知らないものが多いと思うが、市民でも知らないものはあると思う。その意味では、市民も市外在住者も東久留米に在住したばかりの人もターゲットであると考えている。

【委員】

マンホールカードや食べ物など様々な投稿をしているため、その投稿の内容ごとにターゲット層を変えている。

【委員】

東久留米のキャラクターであることがわかるような物をるるめちゃんの身に着けることはできないか。そうすれば、るるめちゃんが出ているショート動画を一瞬だけ見た人にも、るるめちゃんが東久留米のキャラクターであると周知できると思う。

【委員】

るるめちゃんについては、デザインに勝手な変更をしてはいけないので難しいと思う。

【委員】

情報の発信には、告知の発信と報告の発信の2種類があると思う。情報を発信するときは、この2種類をセットで行うことを意識できるとよいと思う。

③新産業創出推進事業部会

■ 概要

- ・今年度については、トークセッション・ワークショップを中心に実施していく。その上で、いかに参加者を増やしていくかを目標としていく。
- ・トークセッション・ワークショップの参加者を増やすためには、それらを求める人々に開催情報をしっかり届けることが重要である。その手段としては、「TOKYO 創業ステーション TAMA」とコラボすることが効果的であると部会で意見が出た。その理由としては、「TOKYO 創業ステーション TAMA」が創業支援に関するイベントを自治体と共同して行っており、その参加者も多いためである。
- ・トークセッション・ワークショップについては、様々な自治体で行っているため、地産協を活用することで、他団体との差別化を図っていく。
- ・「TOKYO 創業ステーション TAMA」と共催し、12月にイベントを実施する方向で現在調整中である。12月のイベント実施に向けて今後も活動していく。
- ・地産協の委員向けに「公共空間の利活用」についての勉強会開催に向けて準備を行っている。ナイトマルシェの例からも公共空間の活用は効果的であるので、開催が決定したらぜひ参加いただきたい。

■ 補足

【委員】

「TOKYO 創業ステーション TAMA」でイベントを行うにあたり、いかにして参加者に東久留米を活用したいと思ってもらえるかが重要である。また、あえて東久留米の課題を参加者に伝えることで、参加者に関心を持ってもらうというのもいいと思う。

イベント後のフォローアップも大事だと思うが、あまり至れり尽くせりなのもよくないのかもしれないと思っている。

公共空間の勉強会については、ナイトマルシェ以外にも他の自治体の先進事例も含めて話をしていきたい。公民連携を積極的に行っていければ、それを市の魅力として創業希望者へアピールできることにつながると思う。

■ 質問及び回答

【委員】

公共空間の勉強会は、12月のイベントと別の話であるか。

【事務局】

12月のイベントとは別である。

【委員】

イベントについては集まりやすい場所で行うことは重要だと思う。駐車場があると参加者をより集められると思う。参加者数を目標としているのはなぜか。

【事務局】

本来は起業者数を目標とすべきだが、短期的には集計することが難しいため、目先の数として参加者数の方が一番評価しやすいためそれを目標としている。

【委員】

起業を希望する方の中には子どもがいる女性の方もいると思うので、イベントにあたっては子どもを保育してもらえる環境があるとよいと思う。会場の場所も重要だと思う。

【事務局】

会場については、市が開催する場合は市役所を抑えることができる。また、「TOKYO 創業ステーション TAMA」でも様々な場所で開催している実績やノウハウがあるので、「TOKYO 創業ステーション TAMA」と相談しながらよりより会場を模索していきたい。

(2) その他

【委員】

委員が所属外の部会に参加しやすくするために、各部会の日程を各委員に共有した方がよいと思う。

【事務局】

次回以降は各部会の日程だけでなく、議事録も各委員に共有するようにする。

【副会長】

協議会や部会の日程調整についてはもっと早めの時期に行っていただきたい。また、

日程調整の回答から開催通知までの間についても早めていただきたい。

【事務局】

迅速にするよう努めていく。

【委員】

調整用のツール使用も検討してもよいと思う。

【事務局】

検討する。

【事務局】

事務局から地産協の予算について説明する。前年に比べて印刷費が4万9千円減、修繕料と役務費が1万円増である。

5 連絡事項

(1) 委員からの連絡

・なし

(2) 事務局からの連絡

■ 連絡事項

・なし

【市民部長】

本日は長時間に渡って議論いただき大変感謝している。地産協とは以前にも関わりがあったが、その時と同様に議論が活発であるので、安心や心強さを感じている。産業振興は一朝一夕に結果が出づらいものではあるが、「なぜ」や「どうして」などの疑問が大きな実結びつくことがあるので、これからもぜひ活発に意見を出してもらえるようお願いしたい。

6 次回協議会開催日

【事務局】

後日日程調整を行う。

7 閉 会

【事務局】

これにて第5回東久留米市地域産業推進協議会を閉会としたい。